

令和7年度

全国学力・学習状況調査

調査結果の概要およびその改善の方向性について



令和7年4月に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果をお知らせいたします。

- ・今回実施された国語・数学・理科に関して、本校の概要を示しました。
- ・調査教科の課題を指導内容と照らし合わせ、改善の方向性を示しました。
- ・生活習慣や学習環境に関する調査について、顕著な項目についてまとめました。

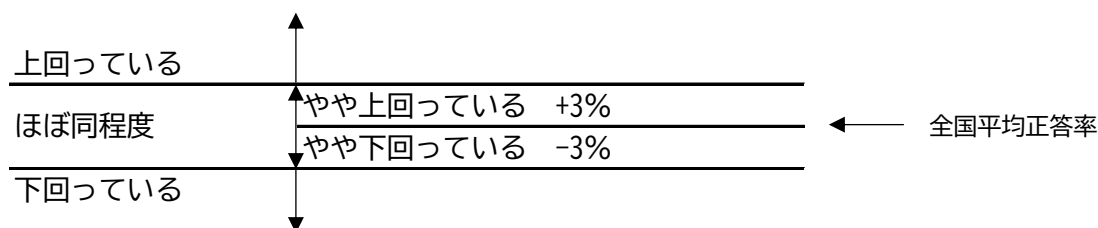
「全国学力・学習状況調査」の全国の結果については、国立教育政策研究所のホームページをご覧ください。 URL <http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

札幌市立札幌中学校

R7 国語科 全国学力・学習状況調査結果分析

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
知識及び技能 思考力、判断力、表現力	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◆全国平均より下回っている。	・事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる。	・文章を書くだけではなく、読み手の立場に沿って文章を整えたり、自分の表現に役立てたりするような学習活動の充実をはかる。
	「話すこと・聞くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。	・話し合い活動を取り入れ、話すことや聞くことが同時に展開する言語活動の機会を増やす。また、提案や発言の内容をメモに整理しながら、話し合いを進めるよう指導する。
	「書くこと」 ◆全国平均より下回っている。	・読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。	・表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章にするために工夫するよう指導する。
	「読むこと」 ▼全国平均より下回っている。	・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。	・文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価したり、文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むよう指導する。

◎全国平均との比較について

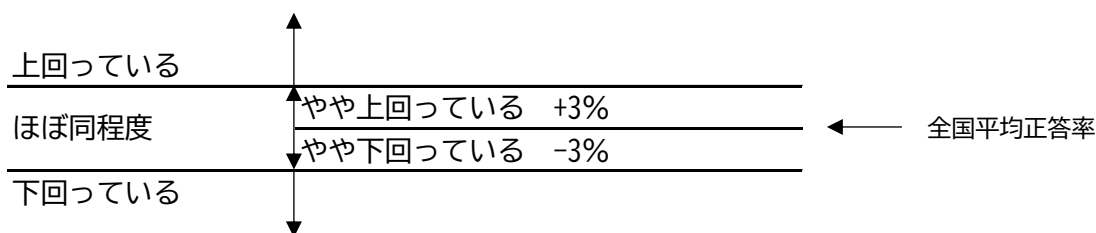


※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R7 数学科 全国学力・学習状況調査結果分析

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
学習指導要領の領域	「数と式」 ▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。	・文字を用いた式で、計算過程を振り返り、条件を変えて考察したり、数量及び数量の関係を捉えて、説明したりする学習活動の充実を図る。
	「図形」 ▼全国平均より下回っている。	・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる。	・図形の性質を三角形の相似条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を伸ばす。また、相似な図形の性質を用いて考察することができるよう指導する。
	「関数」 ▼全国平均より下回っている。	・一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができるかどうかをみる。	・変化の割合とは、 x の増加量に対する y の増加量の割合であることを理解し、変化の割合を、事象の考察やその表現に適切に用いることができるよう指導する。
	「データの活用」 ▼全国平均より下回っている。	・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。	・データの分布の傾向を比較して読み取り、数学的な表現を用いて論理的に説明し、伝え合う活動を充実させる。

◎全国平均との比較について

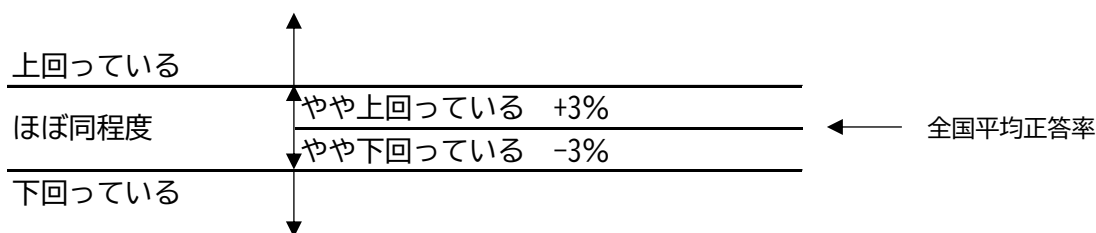


※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R7 理科 全国学力・学習状況調査結果分析

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域 ▼全国平均より下回っている。	・身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる。	・身近な電化製品の回路を分解図などで示し、抵抗の働きを予想させたうえで電流を制御する役割を実験的に確かめさせ、理由付けて説明させる指導を行う。
	「粒子」を柱とする領域 ▼全国平均より下回っている。	・塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる。	・身近な物質に含まれる元素を例示し、周期表やモデル図を用いて元素記号の意味と表し方を理解させる。塩素を取り上げ、記号との対応を確認しながら自ら記号を用いて表せるよう指導する。
	「生命」を柱とする領域 ▼全国平均より下回っている。	・水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる。	・水中の生物を観察する際、えらや体表、浮上行動など呼吸の仕方の違いに着目させ、気付いたことを比較・整理させる。更に「どのように酸素を取り入れているか」を問い、観察結果を根拠に生命維持の仕組みを説明させることで、概念的理解を深める。
	「地球」を柱とする領域 ▼全国平均より下回っている。	・地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できるかどうかをみる。	・学習冒頭で地域の言い伝えを課題化し、地層の観察や資料分析を通して大地の変化との関係を考察させ、複数の露頭比較から地層の重なり方や広がりを根拠をもって推定させる指導を行う。

◎全国平均との比較について



※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R7年度 全国学力・学習状況調査結果【生徒質問紙調査より】

肯定的な回答が80%以上のもの

※パーセントの数値は肯定的な回答の割合を示しています。

項目	質問内容	札幌中	全国
1	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	96.3	85.8
2	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.3	96.6
3	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	92.6	95.9
4	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	92.6	91.6
5	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	92.6	91.5
6	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.7	92.6
7	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	89.8	91.9
8	友達関係に満足していますか	88.9	91.4
9	朝食を毎日食べていますか	88.0	91.2
10	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか	87.9	91.5
11	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	85.2	92.2
12	人が困っているときは、進んで助けていますか	85.2	90.9
13	自分には、よいところがあると思いますか	80.5	86.2
14	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	80.5	83.8

肯定的な回答が50%以下のもの

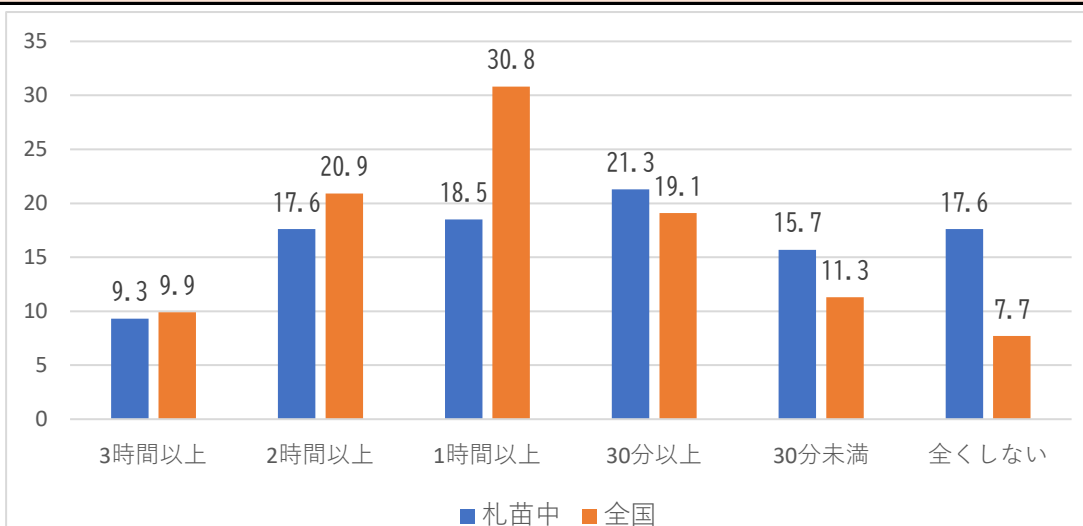
項目	質問内容	札幌中	全国
15	理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか	48.2	54.7
16	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	48.1	56.2
17	数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	44.5	58.6
18	国語の勉強は好きですか	43.5	57.9
19	理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか	41.7	50.7
20	国語の勉強は得意ですか	28.7	51.4
21	数学の勉強は得意ですか	28.7	46.0
22	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります	22.2	29.5
23	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	20.4	21.7
24	新聞を読んでいますか	3.8	5.7

【人間尊重の教育に係る視点】

- 人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合は、前回調査と比べ、3.6%増加している。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う子どもの割合は、前回調査と比べ、1.8%増加している。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある子どもの割合は、前回調査と比べ、1.1%増加している。
- 自分には、よいところがあると思う子どもの割合は、前回調査と比べ、3.4%増加している。

◇札幌市学校教育の重点の基盤である「人間尊重の教育」を推進してきた成果が表れてきています。今後も「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を関連させて取り組み、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに努めてまいります。

項目17 学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



項目19 学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

